

頑張れ九里!

No.27
2008.3

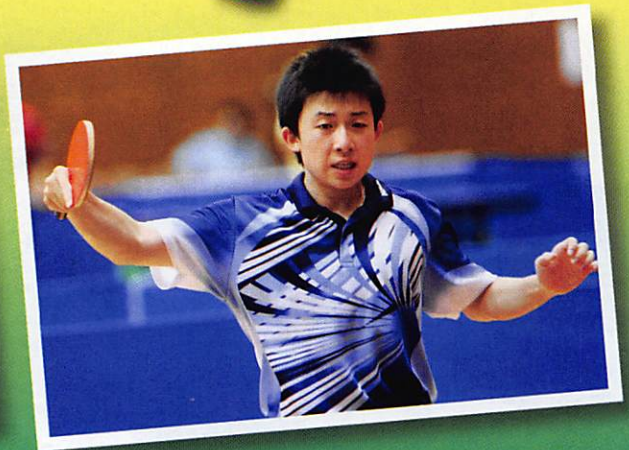
九里学園高等学校部活動後援会報

平成19年度の活動を振り返って

奮闘



陸上長谷川
日本ユース5位入賞
陸上・卓球
国体出場
スキー部・創部二年目
冬季インターハイ出場



「生きている、活かされている」



部活動後援会会長

木村 兼悟

平成十九年度の部活動も、残すところあと僅かとなりました。日頃から本校の体育部活動及び文化部活動の教育活動に対して、本校部活動後援会会員の皆様、保護者の皆様、関係各位の皆様におかれましては、物心両面におたたりまして、多大なる御支援、御協力、暖かい応援を賜りまして、心より厚く御礼申し上げます。

皆様の御協力によりまして、今年度も、陸上部の三十一年連続インターハイ出場、卓球部の数々のめざましい活躍による優秀な成績など、生徒達全員がの頑張り、努力による成果をあげる事が出来ました。

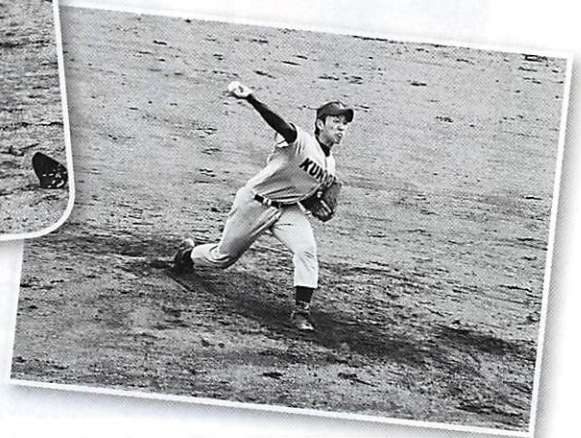
このような生徒達の部活動を支援し、今後の更なる発展を維持する為にも、関係各位の皆様の暖かい御理解による御協力を賜りますよう、心より御願い申し上げます。

三年生の皆さんは、卒業式を待つばかりのこの時期、どのような事を想っ

て生活しているでしょうか？三年前に立てた目標、夢を達成できたでしょうか。様々な結果があなた達を待ち受けてたでしょうが、あなた達はその状況をすべて受けとめなければなりません。スポーツにおいては、せいじつばい頑張った途中経過は、何にも代えがたい賞賛にあたいするものがあります。勝った、負けたの結果は、受けとめなければならぬものです。これから一般社会に出た場合、どのような場面でも、常に結果、成果を今以上に求められるものです。そんな時、あなた達には九里学園で学んだ、頑張った三年間を思い出してほしいんです。人間は悲しいかな一人だけでは絶対に生きていけないのだと、私は思います。そして頑張れません。誰かに協力し、誰かに力になってもらい初めて自分自身が生かしてもらえぬものではないでしょうか。九里学園で過ごした三年間は、あなた達の今まで、そしてこ

れからの人生において、ほんの少しの時間でしかありません。しかし、もっとも充実した時間であったかもしれませぬ。それを活かすもだめにするのも、あなた達のこれからの気持ち次第で、どのようにも変えられます。相手の気持ちや立場を、いかに自分におきかえて考えられるか、自分の弱さを守るために、人に攻撃的になっていないか、そして、人を思いやる気持ちをつい、忘れてしまっている自分に気付いてほしいのです。今まで親にしてもらっていた事を思い出してください。授業料を出してもらって勉強させてもらった事、常に応援してもらい弁当を作ってもらった事、洗濯してもらった事。あたりまえの事ととらえずに、今まで生かしてもらってきた感謝の気持ちを大切に、これからは廻りの人達に返していただくべきです。

「自分を振り返る気持ちを大切に。」



突然の大人気・・・

ハンドボール部のこれからは



学 校 長

九 里 廣 志

ハンドボールの中東びいきでアンフェアな判定をきっかけに、北京オリンピックの出場国を決定する再試合が先日行われました。男女とも韓国と日本の試合でしたが、代々木第一体育館という大舞台で行われ、女子の試合には四二〇〇名余、男子には一万名を超える信じられないほどの多くの観客が集まりました。今までマイナーと言われていたこの種目が、マスコミで連日取り上げられ、テレビで放映されることで、変なきっかけでしたが、多くの人々の注目を集めたことは、選手たちやハンドボールを愛する人たちにとって、とても嬉しいことであつたでしょう。

本校の記録に「ハンドボール」の名前が登場したのは一九六一年の「学園通信67号」です。山形県では、まだ男子の活動しか無かつた時代、五島訓二先生（順天堂大学体育学部でハンドボールの選手として活躍）が赴任した

ことをきっかけにして、県内では最初の女子のチームが作られたのです。翌年に向けて『県ハンドボール界の母たらんとしてチームを結成するつもり』との決意が学園通信に語られています。

初代の班長「ハンドボール班と言っていた」は近野アヤ子さん。試合結果としては六十三年の六月に山形で開催された県大会での「第一位」の記録が最初の記録となつています。翌年の五月には盛岡での東北大会に参加し、地元岩手代表の花巻高校（このチームは決勝まで進出し、前年全国三位の宮城県チームに敗れ二位）と対戦。一対七（前半五対二、後半六対五）で惜敗しています。実質的な練習期間はまだ一年足らず、対抗試合もこの年度に入つてまだ二度目という若いチームの、想像以上の奮闘振りです。五島先生が書かれた戦評を見ると、『本校の（）ゴールキーパーは東北随一で、又

東北では一、二人だけしかできない最高技、二段ジャンプショットを有するものもおり、ホワードのショット力も東北一と思われる。』とあります。わずかな練習期間で、このような優秀な選手になるには、生徒たちの必死の練習があつたのでしょう。そのような選手の高張りはもちろんのこと、レベルの高いチームに育てた若い情熱一杯の指導者にも拍手ですね。その後も本校しかチームの無い時代が続き、A・B二チームに分かれて県大会決勝を争う次代が続きます。そのような条件の悪い中でも、本校チームは「山形県最初の女子チーム」としての自覚と誇りを持って、戦い続けてきたのです。インターハイや国体出場も歴史の一コマです。



ハンドボール部インターハイで活躍（写真は山口大会にて）

男子陸上競技部

ジュニアユースに出場して



二年二組

長谷川 裕

(川西一)

今回、大分で行われたジュニアユースの大会に出場してきました。競技場は、人生初の青いグラウンドで、少しくワクワクしていたことを覚えています。そして大会当日、アップを少し時間をかけてやり、いつも通りにアップを

終え、いよいよ本番だと思い、召集所に向かいました。前の競技時間が延び、自分の競技時間が遅れました。そしてとうとう本番が始まりました。自分は、一投目は、けっこういい投げだったと思います。そして気合いを入れて二投目はロング、結局これ以上伸ばすことができず、記録は十五M〇二cmで五位でした。

この大会で、自分の体力の無さと、勝ちへの執着心が足りないことが分かりました。今は冬季でなので、練習で自分から進んで心身共に鍛えていきたいと思えます。

きな不安がありました。



三年一組

李 午 龍

(北京)

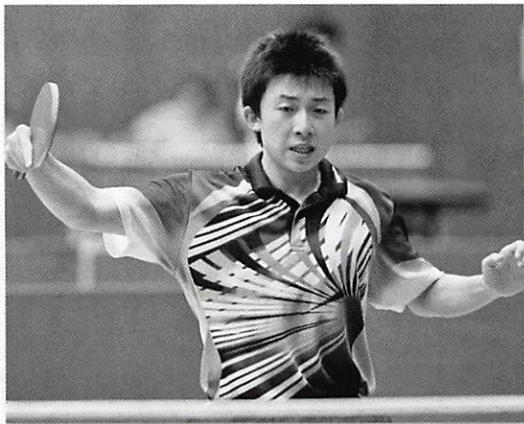
わかすぎ国体を振り返る

十月中旬に秋田県で国民体育大会が行われました。全国各県の予選を勝ち抜き、代表に選ばれた選手達がチームを組み、県のために戦います。各県の最も強い選手が集まり、更に山形県代表というプレッシャーもあったので大

大会は最初、四つの県で争われるリーグ戦から始まり、上位一チームだけが決勝トーナメントに進めます。最初高知県に三―〇で勝ち、次は岡山県に三―二で勝ち、最後は千葉県に三―〇で勝ち、これで十五年ぶりのベスト8進出を決めました。

今回の大会で自分はいい試合ができたと思えます。それよりも一番良かった点はチームが一つになったことです。

プレッシャーの中で戦いつづけられた事は私の大きな自信となりました。仲間のおかげです。ありがとうございます。



した。



国体を振り返って



陸上競技部顧問

原田 隆弘

山形県の四〇〇Mリレー代表として国体に出場してきました。

私は、「記録も大事だが、誰かの記憶に残る走りをしてほしい」と目標を掲げレースに臨みました。

リレーという種目は一人では勝てません。四人のうち誰かが失敗したり、調子が悪かったりしたら負けてしまう競技です。

結果は惜しくも予選落ち。しかし私は、「自分らしい走り」ができたと思います。応援してくださった方やコーチからも「いい走りだった」と講評をいただきました。

結果は結果。しかし、それまでの過程がどうであったかが大切。コンディション・集中力の高め方・走る為の準備が上手くできたと思います。そしてこの大会を通しての経験をアスリートとして、指導者としてこれからに生かしていきたいです。



応援してくださった皆様、ありがとうございました。

スキー部

まだまだの自分



一年四組

佐藤 香澄

(米沢五)

山形県にはもっと強い選手がいるなか、私も高校生の大会インターハイに出場することができました。インターハイに出場して、全国には自分よりも精神的にも技術的にも上の人が

たくさんいて、自分はまだまだで情けないなあと

思った大会となりました。

今の自分の実力はこんなもので結果もあたりまえの結果でした。しかし、

インターハイで強い選手の走りを見て、すごい

ものを得られました。

今年は一生涯懸命練習に励み、すこしでも気をゆる

めず、来年、強い選手となってインターハイに出場できるよう頑張りたいです。



応援してくださった皆さんありがとうございます。うございました。

インターハイを通して



一年六組

島貫 蓮

(米沢三)

私はインターハイを通して自分の情けなさを改めて痛感しました。情けなさすぎて、恥ずかしいし申し訳ない気持ちです。体力のなさ、自分への厳しさのなさ、精神力のなさ、全てがスキー選手としてなっていません。全国には速い人がたくさんいますが、日本で一番になれるのは一人しかいません。自

分は勝つためにそれなりの努力をしたかと聞かれたら、自信を持って「はい」と答えられません。いつまでも自分から何も成長しないと思います。

思いっきり練習して、

充実した毎日を送りたいです。恥ずかしい思いを

することのないように、

自分を鍛えたいです。応援してくれる人たちがいることは本当にうれしい

ことです。初心に戻って



一から毎日の練習にはげんで行きたいと思えます。応援してくださったみなさん、ありがとうございます。

山形県高等学校スキー大会

(1月9～12日)

スキー部

フリー競技 10 km

10位 島貫 蓮 (1年 米沢三)

12位 佐藤 香澄 (1年 米沢五)

クラシカル競技 5 km

6位 島貫 蓮 (1年 米沢三)

12位 佐藤 香澄 (1年 米沢五)

山形県総合体育スキー大会

(1月18～21日)

フリー競技 10 km

9位 島貫 蓮 (1年 米沢三)

12位 佐藤 香澄 (1年 米沢五)

クラシカル競技 5 km

8位 島貫 蓮 (1年 米沢三)

12位 佐藤 香澄 (1年 米沢五)

第57回全国高等学校スキー大会

(2月2～6日) 新潟県十日町

フリー競技 10 km

81位 島貫 蓮 (1年 米沢三)

99位 佐藤 香澄 (1年 米沢五)

クラシカル競技 5 km

68位 島貫 蓮 (1年 米沢三)

99位 佐藤 香澄 (1年 米沢五)

各部の奮闘!!

活動を振り返って

男子陸上競技部

辛い冬を乗り越きつて



三年三組
黒澤 悠
(飯 豊)

陸上競技部は二〇〇七年の佐賀インターハイに三年飯沢一希と二年長谷川裕が出場し、三十一年連続インターハイ出場という偉業を成し遂げることができました。

今年の三年生は一年生の頃から大変な学年でした。二年生までまとまりがありませんでしたが、二年の辛い冬を



みんな乗り越きつたとき少しずつですがまとまりが出てきました。そして、春の県高校総体では総合で二位まで上がることで、たくさんさんの入賞者が出ました。

ここまで上がってこれたのは私達だけの力でなく先生方のご指導のおかげです。競技力だけでなく人間的にも成長させていただきとても感謝しています。ありがとうございます。

女子陸上競技部

一生の宝



三年五組
伊藤 綾音
(米沢一)

私は、この一年間陸上部の部長として取り組んできました。部活動では、たくさんさんの仲間と良い指導者に恵まれ、毎日が充実していました。私は部長として、どこにも負けない団結力があるチームにしたいと考えており、毎日自分から行動するよう心掛けていました。また、部を元気づけようと努力しました。しかし、周りの仲間が逆に私を元気づけ、支えてくれました。

陸上は個人競技と言われていますが、私は個人では成り立たないと心から感じました。仲間の存在が私を元気づけ、

先生方に励まして頂いたおかげで部長という大役をこなすことが出来ました。九里で陸上が出来たことは私の一生の宝です。そして、陸上を通して得たことを無駄にすることなく、これからの人生に役立てていきたいと思っています。

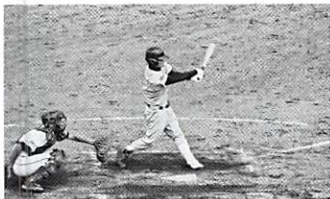
野球部

仲間を信じて



三年一組
興谷 裕介
(米沢二)

三年生にとって最後の夏の大会。私達はこの大会で優勝し、甲子園出場を果たすことを目標に切磋琢磨し合い頑張ってきました。二年生の秋から私はキャプテンになりました。しかし、私自身力不足でなかなかチームをまとめることができませんでした。冬のオフシーズンに、チームの気持ちバラバラになり、何度も話し合いをしてチー



ムを一つにしようと思いました。この頃、私は辛く毎日悩み、正直キャプテンも野球も辞めてしまいたいと考えていました。しかし、そんな私を支えてくれたのは仲間でした。仲間がいてくれたから辛く苦しい時を乗り越えられたと思うし、仲間には本当に心から感謝しています。

甲子園出場はできなかったが、後輩達には仲間を信じ、感謝の気持ちを忘れず、甲子園出場を果たせるように頑張ってほしいです。

男子卓球部

努力する心



三年一組
李 午 龙
(北 京)

今年は僕にとっても忙しい一年間でした。日本語を学びながら、さまざまな全国大会に出場しました。三月には東京で東京選手権が行われ、八月にはインターハイ、十月には国民体育大会と重要な試合が多かったと思います。

卓球を通して、学んだことは努力すれば必ず報われるということ、すなわち、努力した分が成績にあらわれるということだと思います。

今年は団体会で全国大会に出場することができませんでした。この夢を後輩たちに託したいと思います。来年度は必ず全力を出し切り最高の結果を出せるようにがんばってほしいと思います。



女子卓球部

最高の一年



三年七組
五十嵐伊代
(飯 豊 中)

この一年間を振り返り、私はたくさんの人に支えられ、励まされながら成長できたと思います。

私は女子卓球部の部長として部員のリーダーとなりました。しかし、逆に私が部員にリードされていた面もあった気がします。

私の場合、何もかもが適当で、「部

長なんて面倒だ。」と思っていた私を変えてくれたのが卓球部の仲間でした。一人ひとりの卓球に対する想いと、勝ちたいという強い気持ちに「私も答えなければ!!」と考えが変わったのです。そういうわけで、部長を続けられたのも仲間のおかげと思っています。

私は卓球部に入り、仲間の大切さを知りしました。一、二年生の頃には味わった事のない最高の一年となりました。



男子バスケットボール部

無限の可能性に向かって



二年八組
大橋 尚之
(米 沢 三)

この一年を振り返ってみると、課題の残る一年だったように思う。私達男

子バスケット部は人数が少ないということもあって、公式戦では後半のスタミナ切れが一番の弱点だった。そのため、練習を厳しくして体力の向上を計ったが、極度の疲労から怪我人が増えてしまった。その結果、できる練習が限られてしまった。しかし、そんな中で部員が二人増えることになった。その二人の加入により部員一人一人が刺激されて、今は良い方向へと前進しているように思う。けれど、私達は未完成なチームなので、日々課題は山積みである。しかし私達のチームは、まだまだ強くなれる無限の可能性がある。だからこそ、残りの数ヶ月の厳しい練習に耐え抜いて、一人一人が不屈の精神で、高体連優勝に向かって一歩一歩確実に上へ昇っていきます。



女子バスケットボール部

ありがとう



三年四組 大場 美奈 (米沢七)

「高校生活で一番の思い出は？」と聞かれて、私はすぐに部活の事が思い浮かびます。練習の前に「栄光の架橋」を全員で歌い、気持ちを一つにし、試合に勝つために無我夢中で練習に取り組んできました。試合で勝つには、チームが一致団結し、全員で戦うのだから、仲間の大切さを知ることができました。また、吉田先生をはじめとする先生方の熱いご指導、私達を陰から支えてくださった保護者の方々、たくさんの方の応援によって、九里バスケット部は多くの事を経験し、試合に勝つ事ができたのだと思います。

辛い思いもたくさんしました。でも今では、すべてが自分を成長させることので



男子バドミントン部

新しい人生に生かしたい



三年二組 本田 成樹 (高島一)

バドミントン部は、三年生二人、二年生十三人で毎日目標に向かってがんばっていました。自分の目標は、地区高校総体で個人戦、団体戦ともに表彰台にある事でした。私はその目標を達成するために、きついトレーニングを毎日のようにがんばっていました。特にきつかったのが、筋力トレーニングやフットワークやノックといったトレーニングで

筋力トレーニングで筋力アップ、腕立て、も上げと



女子バドミントン部

思い出



三年四組 渡部 広菜 (米沢三)

基本的な筋トレ、フットワークでは何往復ものシフトワークやノックでは、何十球を何セットといったトレーニングをがんばったおかげで自信をつけて大会に臨む事が出来ました。団体戦、個人戦共に、緊張していて、本来の実力を出せずに負けてしまいました。が、一、二年の時とは違った経験を味わえたので、この経験をこれからの新しい人生に生かして行きたいと思えます。

この三年間、バドミントンを通して、たくさんの方の事を学んできました。技術面はもちろんのこと精神面でも多くのことを学び得ることができました。また、仲間とぶつかり合ったことで、一人一人の大切さを改めて知りました。そして、自分が壁にぶつかり落ち込んでいる時や、仲間が落ち込んでいる時、互いに支え合いながら、その壁を乗り越えてきました。その度に、仲間との信頼関係を築き、そして絆を深めることができました。

サッカー部

九里サッカー部万歳



三年一組 横山 大輔 (米沢四)

今までこの仲間と共に、厳しい練習や辛い合宿を乗り越えたことで、たくさんの経験をすることができました。また、仲間と泣いたり笑い合えたことで最高の思い出を作ることができました。そして、三年間、この仲間と一緒に過ごすことができてよかったと思っています。

私は、二年生のシーズンオフからキャプテンを務めました。私がキャプテンになったところは、チームはまとまらず、日によって練習に対する取り組み意識が低かったり、チームに、悩みました。監督にも、よく怒られました。その度



に、チームみんなで話し合いました。そんなことを、くり返して行くうちに、チームがまとまり始め、チームの雰囲気もよくなり、練習に対する意識も高くなり、チームが変わっていききました。最後の大会、いい結果を残すことができました。このチームでサッカーができたのは、監督、コーチ、精先生、チームのみんなに、本当に感謝したいです。この九里サッカー部で学んだことを生かして、これからの人生頑張っていきたいです。

バレーボール部

感謝の気持ち



三年五組

川崎麻衣子

(米沢二)

九里学園でのバレー部の活動を通して、私は沢山の事を経験することができました。中には、辛かった事、苦しかった事も沢山ありました。しかし、その課程の中で私たちは、バレーの技術面や体力面だけではなく、精神面など人間性の面で大きく成長できたと思います。このように三年間、大好きなバレーボールができたのも、指導して下さった先生方、いつも見守って下さった保護者の方々、外部から指

導しに来て下さった多くの方々、そして、共に頑張ってきた仲間たちの支えがあったからこそです。

そして、この環境の中でバレーができた事、この九里バレー部で過ごした仲間との三年間は私の誇りであり、今まで支えて下さったみなさんに感謝したいと思います。

三年間、ありがとうございました。



ソフトボール部

団結力こそチームの力



三年四組

丹野はる香

(米沢二)

この一年間を振り返って、私達ソフトボール部は大きく成長することがで

きました。

先輩方が引退し、新チームになってからなかなかまとまらず、試合に勝つことができませんでした。しかし、日々の練習や合宿や試合をするたびに、チームの団結力が深まったと思います。練習の中では、先生からたくさんのご指導を指導していただきました。一人が指導されている時は、部員の全員が自分のことのように熱心に聞いていました。みんなが自分の目標を決め、課題を克服してきたからチームの力を伸ばすことができたのだと思います。最後の地区大会・県大会では相手がどんなに強くてもあきらめずに、おもいっきりプレーできました。勝った時の喜びは一生忘れられません。部活を通して「努力すれば絶対に叶う」ことを学びました。



男子テニス部

すばらしい環境の中で



三年一組

嶋貫 紘斗

(長井南)

この一年を振り返り、男子テニス部は「明るく楽しい」と思える部活であり、他の学校にはない規則で始めのある活動ができたと思います。また、頼り甲斐のある顧問・コーチ、さらには数多くの支援をして下さる保護者の方々の援助があり、集中して活動できる環境が整っているため、個々の目標により早く着実に進むことができました。

九里学園には「電動ストリングマシン」があり、シーズンやサーフェイス、その時の調子によってガットのテションを変えて、いつでもベストなプレイができるようにと、先輩方より後輩へと自分でガットを張れる技術を受け継いでいます。そのためガット代のみで張り代無しというメリットもあります。ガット張りだけでなく、テニスの技術を磨き、更なる活躍を先輩に期待します。

女子テニス部

大躍進の年



三年八組

窪村 郁子

(米沢三)

春、雪がとけて久々に屋外での練習が再開し、今年度の活動が始まった。新たに一年生を加えて、春の地区総体に向けて練習を始めた。そして、新しい顧問に岡部先生が就かれたことで、本格的な指導の下練習に励むことができた。

昨年度、先輩方が優勝したことで私たちが負けていられないとばかりに大会直前は必死になって取り組んだと思う。大会本番では、健闘し接戦にまで持ち込んだ部員が多く、部活としての進歩を感じた。結果として、優勝や入賞は叶わなかったが、確実に今後に生かしていける試合だったと思う。次の新人戦では、着実にステップアップした成果が出て、見事優勝したペアも出た。それだけではなく部員全体の士気が以前と比べて高まったと思う。この一年充実したものとなったと思う。

剣道部

感謝の気持ちを忘れない



三年六組

須貝 麻衣

(高島四)

私がこの一年を振り返って思うことは、全力を出し切れずベストを尽くせなかった悔しい思いが忘れられませんか。どうして最後まで確認しなかったのかと今まで自分を責める時があります。部活を引退してからは、ふっと一年間部活を頑張ってきたことや大会で悔しい思いをしたことが懐かしく思えたりします。毎日のように厳しい練習をして後輩たちと励ましあったり、互いの悪いところを注意して直したりしようと日々努力していたことを今でもはつきりと思い出せます。

私はこの一年で多くのことを学んだように思えます。何かをするにも確認したり、人に何かをしてもらったら



感謝の気持ちを忘れないようにしています。私は一年を通して、良い仲間に出会えてとてもよかったですと心からそう思っています。

弓道部

自分の器を大きくした年



三年二組

齊藤 拓也

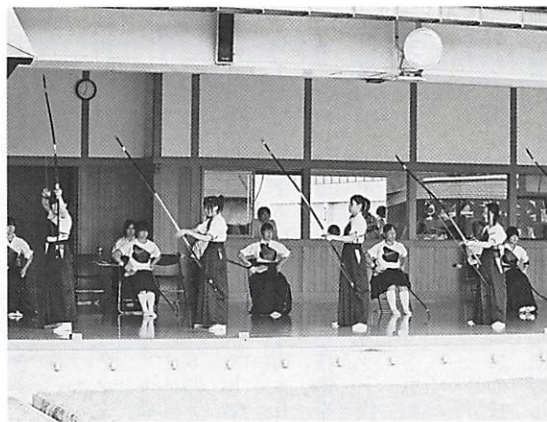
(利郷)

弓道部は、男女混合の部活で三年生六人、二年生十人、一年生十人の計二十六人で活動をしていました。九里学園では珍しく男女が一緒に活動をする部活で、部長として部をまとめるために色々な努力をしました。

最初に、私は部活動で何か不満なことがあるとすぐに怒ってしまう癖があったので部長になってからは極力怒りを抑えるようにし、自分の考えを部員に伝える時は慎重に言葉を選びました。また、活動を行なっていない部員には男女の差別が無いように注意をし、その人に合った言葉を掛けるようにしました。

これからの行動が全て良い結果には結びつきませんが、私自身ができる限りのことを尽くしていたと思います。人間関係が、主体となった部活

動でしたが、高校生活の中で大きな物を残してくれた一年間でした。



ハンドボール部

あきらめなかった活動



三年七組

遠藤 咲子

(米沢四)

私達ハンドボール部は、三年生三名、一年生一名の計四名というとても少ない人数でこの一年間活動してきました。普段の部活ではたった四人だけだった為、ちゃんとしたチーム練習や試合に望むこともまったく出来ませんでした。でも、学校が終わるとすぐにグラウンドに行き、四人みんな揃って

頑張ってきました。顧問の先生方からも、ハンドの楽しさや細かな動きなどを教えて頂きました。実際に試合を行うことが出来なかったけど、だからこそ、他の部では学ぶことの出来ない事を学ぶことが出来たと思います。

個人的に私は、初めはやっていけるのか不安でいっぱいだったけど、部員みんなが支えてくれて、そのおかげで活動してこれたと思っています。この一年、部活を通して沢山良い経験が出来ました。有り難うございました。

茶道部

チームワークの良さをこれからも



二年五組

高橋 咲

(高島一)

私たち茶道部は、今年度七人という少ない人数で活動してきました。十月に県高総文祭が置賜地区で開催されるため、今年の目標は、呈茶席でのお点前をしっかり習得し、本番には堂々と自信を持ってやれるようにすることでした。昨年度、山形地区の茶会に参加し、雰囲気と完璧なお点前に驚いたことを思い出して、私たちもあのように出来るだろうかと不安になることもありました。立礼のお点前から棚のお点

前となったことも不安要素となりました。実際に練習では、一つ一つの動き指先や歩き方など細かい部分の注意を受けながら稽古が続いていきました。夏休み中の部活、九里祭でのチームワークの良さは、高総文祭でもうまく行きました。

部長としての私は、この発表で周りの状況を判断し指示行動すること学んだ体験でした。



吹奏楽部

仲間がいたからこそ



三年五組

高橋 千都

(米沢二)

私は小学生の頃からずっと吹奏楽を続けてきましたが、高校三年の最後の部活という事で一日一日が楽しくまた、大会へ向けての練習など一生懸命がんばってきました。この一年で学

んだことがたくさんあります。一つ目は、仲間の大切さを学びました。支え合ってきたからこそ最後までやってこれ、仲間がいたからこそ笑顔でいれました。私は卒業しても、吹奏楽部の仲間のこと忘れません。

二つ目は、皆で演奏することの楽しさを学びました。これから先、吹奏楽をすることがないので、いままでたくさん曲を楽しく演奏することができ、良い思い出になりました。

たくさん仲間たち、顧問の先生方とこの一年間過ごすことができてとても嬉しく思います。卒業しても忘れられない思い出になるほどとても充実した一年でした。



書道部

自ら吸収する姿勢



三年一組

勝見 章弘

(長井北)

私が習字の塾に通い始めたのは小学校三年生の時です。それからますます習字が好きになり、書道部に入りました。しかし、実際に入ってみると、私が今までやってきた習字では、全く通用しないことに気付かされたのです。ただ机に向かって字を書けば良いというわけではないのです。それが習字



と書道の大きな違いでした。受け身で活動するのではなく、自ら吸収していく姿勢が大切であると思いました。九里の書道部の部員数は少ないですが、一人一人の意欲が高く、活発な活動をしています。この部活を通して、字をきれいに書くこと以前に、社会に出て行くために必要なものをたくさん学びました。このような機会を与えて下さった顧問の先生に、改めて感謝致します。

ダンス部

高校生活にメリハリ

三年四組

高橋 昌子

(米沢二)



「ダンス」一見、華やかに見えますが、とても奥深いものです。心で感じたものを身体で表現するには、その人なりの感受性も関わってくるし、思い通りに表現する為には、地味な基礎トレーニングも欠かすことはできません。また、「個」と「集団」の両面のバランスがとれた時、ダンスの素晴らしさが生まれる事を最高の喜びとし懸命に取り組んできました。

そして私達は、上杉まつりの他にも地域で開催されるイベントや、文化祭

等での発表を重ねてきましたが、ダンスを通して、本当に多くの事を学べたと思います。全ては、顧問の鈴木涼子先生との出会いからです。基礎からしっかりとご指導頂き、高校生活にもメリハリが出てきたように感じています。ダンスを通して：顧問の先生をはじめ部員の皆さんに心から感謝します。



美術部

自分自身の挑戦

三年七組

須藤 加菜

(赤湯)



私は、もともと、部長むきではないと自分では思っています。人をまとめたりするようなことが、とても苦手だからです。そんな私が部長という仕事を引き受けた理由は、部活での時間がとても楽しくて、ほんの少しでも私にできることがあるのなら、上手くできないかもしれないけれど、おもいきって引き受けて頑張ろうと思ったからです。でも、やってみて、実際には、部長らしいことは、やっぱり何もできなかったように思います。だけど、美術部員として、作品づくりに取り組み、展覧会などで、たくさんの作品にふれ多くのことを学ぶことができました。絵を描く技術はもちろん、「絵を描くことの楽しさ」を改めて知ることができて、美術部での活動はとても充実したものでした。これからも、美術部で学んだことを活かしていきたいです。

新聞部

奨励賞を受賞して

三年五組

小口奈津美

(米沢三)



新聞部では、主に活版新聞の発行を行ってきました。本来ならば、学校での行事や生徒会で力を入れている事などを取り上げ、定期的に新聞を発行すべきでしたが、部員数も少なく定期的に新聞を発行することは出来ませんでした。

活版新聞の作成でも、何の事を記事にすれば良いのか分からずに、なかなか活動を進められないこともありました。しかし、少しずつ形になっていくにつれてみんなに読んでもらえるような新聞を発行したいと思えるようになりました。そして、部員で協力して作成した九里学園新聞は、山形県高等学校新聞コンクールで奨励賞を頂くことが出来ました。

この結果をとてもうれしく感じました。この結果をバネにして今後も頑張って活動してくれることを期待しています。

J R C 部

新しい活動の中で



三年四組

鈴木 未来

(米沢六)

この一年間私は、部長としてJRC部を引っ張っていく側となり、副部長や部員と一つの活動について話し合いながら進める事ができました。毎年先輩方が行っていた活動とは少し違う事も取り入れたり、とても有意義に活動してきました。

今年度の九里祭では、私は受験で忙しく、部長でありながらみんなと一緒に



に活動できませんでした。しかし、私がいなくても後輩達がしっかりと活動していてくれて、私はとても助かりました。同時に、みんな行動力があり進んで活動している姿に心打たれました。

私が卒業しても、伝統のあるJRC部をしっかりとひきついでいってほしいと思っています。

いままで携わってくれた先生方、ありがとうございました。

演劇部

信じ合うすばらしさ



三年七組

土田 里美

(米沢二)

演劇部の活動を振り返ってみると、この一年の間にも私達は大きく成長できたと思います。二年生全員が部活をやめてしまい、一年生が入ってくるまでは、私達三年生だけの活動でした。その期間でもある意味成長できたと思います。でも、一年生が入部してからは一年生と一緒に成長できました。まず、一年生をきちんと指導してあげることや、演劇の専門用語などを教えてあげたりすることで、私達三年生も改められたりしたからです。また、演劇

にはお互いを信頼するという事も活動していく中で大切だということも改めて知らされました。こういう場面などを通して私達は大きく成長できました。

最後に、部活や一年生と一緒に引っぱってくれた部員の皆、ありがとう。指導して下さった顧問の淳子先生ありがとうございました。

音楽部

自ら努力することを知って



三年六組

松田みなみ

(中津川)

私は、まさか自分が部長になるとは思っていなくて、うまくみんなをまとめられるか不安でした。歌うのは好きだけれど、ピアノもそんなに弾けなくて、活動の進め方などわからなくて、こんな私が部長になっていいのか自信をなくしていました。しかし、活動していく中で、トラブルがあった時は、部員のみんなや先生、コーチの方が支えてくれました。私は一人じゃないんだなど、だんだん自信がついてきました。一番の思い出は、私たちの最後のステージである、アンサンブルフェ

ステージです。そのステージに向けて私たちは、一生懸命自分から活動しようと努力しました。その結果、今までのステージの中で、一番満足したステージになりました。この経験は一生忘れられません。大切な仲間と出会えたこの音楽部で活動できてよかったです。

文芸部

大成功の県高文祭



三年一組

小池 匠

(南原)

例年の私達文芸部は小説や詩の執筆、作詩リレーの頭取りなどをしており、非常に和やかな日々を送っている。だが今年度は九里祭だけでなく、山形県高校総合文化祭の主催も勤める為、例年以上に多忙なものとなった。九里祭では研修旅行の時に撮影した写真と共に詩の展示を行い、執筆した作品をまとめた部誌を販売した。部誌と展示いづれにおいても予定通りに事が進まず、難航を極めたが、無事に終える事ができた。一方、総合文化祭は結果から言えば大成功で幕が下りた。九里学園が主催を勤める際、置賜地区の文芸部が

協力してくれたおかげである。私も引退した身だが参加させて頂いた。またこの際、私と高橋諒君は文芸コンクールにおいて佳作を受賞した。高橋君には今後があるので頑張ってもらいたい。

英語部

「ブリティッシュヒルズ」



三年四組
山崎さくら
(米沢四)

私はこの一年間、人数が全然足りなくて、英語部の活動ができるのかどうか心配でした。しかし、何人か入部してくれて、うれしかったです。活動日は火曜日と木曜日の週二日制でDVDを見たり、ゲームをしたりしました。そして、夏休みには、福島県にある「ブリティッシュヒルズ」という所へ行ってきました。そこでは、英国独特の雰囲気を楽しむことができ、また英国のレンガ造りの建物がきれいに建ち並んでいました。それをきっかけに、英国文化にちよつと興味を持ちました。英語部は、活動日は少ないですが、健太先生、モニク先生と一緒に他の部員と楽しく、英語と触れ合うことができ、充実した部活動を送ることができ

ました。少しでも、英語を好きになつてくれる人が増えたらいいなと思います。一年間ありがとうございました。

生活科学部

笑いのたえない充実の一年



三年四組
伊藤 彩美
(米沢七)

今年の生活科学部は、五月に五人の新入生が入部し、計二十名の部活となりました。

私は、部員が楽しいと思ってくれるような活動をしようと考え、春にはお花見、夏には川西町のJAMに行きピザを作ったりと、季節に合わせたさまざまなイベントをしました。普段の部活動では、パペットやぬいぐるみを作ったり、調理ではうどんやガトーショコラなどを作りました。

文化祭では、今まで活動してきた作品を展示し、クッキーの販売にも挑戦しました。初めての販売だったので、部員全員で協力し、大成功に終えることが出来ました。

一年間、部長として副部长とともに部員を引っ張って来ましたが、笑顔や笑い声がたえない活動が出来て良かったです。

顧問の先生、部員の皆さん本当にありがとうございました。

PC愛好会

思い出の体育祭



三年七組
荒井 千春
(米沢四)

この一年、新入生も思ったより入ってくれて部員同士の交流もでき、和やかに活動できたと思います。主な活動であるパソコンを使った検定取得への取り組みも各自真面目に取り組んでくれたので部長の私は手を焼く必要もなかつたので助かりました。

PC愛好会は大衆の目に映ることはありませんが、人知れずがんばったのは今年度の体育祭で各クラスの得点をパソコンで集計したことでした。これはPC愛好会で毎年恒例の仕事なので、来年後輩が無事に引き継いでくれるよう一緒に集計しました。部活のみんなが何かすることは普段ないので新鮮で楽しかったです。イベントの少ない部でしたが、居心地の良い部でした。来年もその雰囲気の後輩たちには明るく活動してほしいです。今までありがとうございました。

イラスト・アニメ愛好会

マンガ甲子園への挑戦



三年五組
萩原 智美
(米沢一)

この一年間は、私にとって大きな年になりました。初めて部長という大きなことを任せられました。最初はとても不安でした。慣れない仕事ばかりで、戸惑ったりしましたが、みんなの助けを借りながらがんばることができました。

高校生活最後の部活動ということもあり、部の活動にも自分なりに真剣に取り組みました。中でも、マンガ甲子園という大きな事にも挑戦しました。チームで協力して描いたイラストが、一次予選を通過したときは、とても嬉しかったです。他にも文化祭や普段の活動など、充実した活動をするのができました。

活動の中で大変なこともありましたが、学ぶことも多かったです。この部活で活動できたことを、嬉しく思います。

体育系部活動

東北新人大会(宮城) (9月28日~30日)

陸上部

男子円盤投

優勝 長谷川 裕(2年 川西一)

43 M 23 (1.75 kg 大会記録樹立)

*なお、これまでの大会記録も本校卒業生の佐藤貴展(H19卒)が持っていました。

男子砲丸投

2位 長谷川 裕(2年 川西一)

14 M 50

女子走幅跳

4位 舟山 侑里(2年 小国)

5 M 30

男子200M

出場 渡部 大輔(2年 飯豊)

23秒07

男子110Mハードル

出場 木村 信謙(2年 米沢二)

16秒97

女子七種競技

出場 金田 沙織(2年 長井北)

3479点

県新人大会

陸上部

男子100M

7位 渡部 大輔(2年 飯豊)

11秒36

出場 外山 博規(1年 米沢五)

11秒49

出場 安達 豊(1年 長井北)

11秒69

男子200M

5位 渡部 大輔(2年 飯豊)

23秒24

出場 外山 博規(1年 米沢五)

23秒43

出場 安孫子俊志(2年 米沢二)

23秒88

男子400M

出場 齋藤 圭佑(2年 米沢五)

53秒63

出場 安孫子俊志(2年 米沢二)

54秒21

男子800M

7位 山口 廣紀(2年 飯豊)

2分02秒26

出場 安部 力矢(1年 小国)

2分08秒98

男子1500M

出場 山口 廣紀(2年 飯豊)

4分23秒87

男子5000M

出場 伊藤 将太(1年 米沢四)

16分09秒42

男子110Mハードル

3位 木村 信謙(2年 米沢二)

17秒23

男子400Mハードル

出場 木村 信謙(2年 米沢二)

62秒94

出場 齋藤 圭佑(2年 米沢五)

63秒40

男子400Mリレー

安達 豊(1年 長井北)

失格 外山 博規(1年 米沢五)

安孫子俊志(2年 米沢二)

渡部 大輔(2年 飯豊)

男子1600Mリレー

3分32秒56

安孫子俊志(2年 米沢二)

5位 木村 信謙(2年 米沢二)

齋藤 圭佑(2年 米沢五)

外山 博規(1年 米沢五)

男子走幅跳

出場 安達 豊(1年 長井北)

5 M 80

男子砲丸投

1位 長谷川 裕(2年 川西一)

14 M 52 II 大会新

男子円盤投(1.75 Kg)

1位 長谷川 裕(2年 川西一)

41 M 09 II 大会新

出場 羽賀 正貴(1年 米沢五)

27 M 15

男子ハンマー投

出場 羽賀 正貴(1年 米沢五)

記録なし

女子100M

出場 舟山 侑里(2年 小国)

13秒33

女子200M

出場 渡部真希子(1年 宮内)

27秒66

出場 後藤 景(2年 長井北)

28秒12

女子400M

6位 後藤 景(2年 長井北)

62秒05

出場 渡部真希子(1年 宮内)

64秒69

女子800M

出場 小関 美月(2年 米沢六)

2分35秒78

女子1500M

出場 小関 美月(2年 米沢六)

5分35秒20

女子100Mハードル

5位 本田 櫻(2年 米沢四)

16秒63

出場 齋藤 綾香(1年 長井北)

20秒56

女子400Mハードル
出場 本田 櫻(2年) 米沢四)

73秒15
女子400Mリレー 51秒40
後藤 景(2年) 長井北)

7位
本田 櫻(2年) 米沢四)
渡部真希子(1年) 宮内)

女子1600Mリレー 4分14秒97
舟山 侑里(2年) 小国)

6位
金田 沙織(2年) 長井北)
本田 櫻(2年) 米沢四)
渡部真希子(1年) 宮内)
後藤 景(2年) 長井北)

女子走幅跳

2位 舟山 侑里(2年) 小国)
5 M 45

6位 金田 沙織(2年) 長井北)
4 M 89

女子砲丸投
出場 高橋ひとみ(1年) 米沢二)
7 M 23

女子円盤投

6位 高橋 美香(2年) 米沢二)
25 M 42

7位 渡部 茜(1年) 米沢四)
24 M 26

女子槍投

出場 高橋 美香(2年) 米沢二)
26 M 15

出場 高橋ひとみ(1年) 米沢二)
18 M 72

バドミントン部

男子団体

一回戦敗退 0-3 山形南
(出場メンバー)

山吉加寿哉(2年) 米沢三)
飯田 駿介(2年) 米沢二)
関本 和馬(2年) 米沢二)
渡邊 達也(2年) 高島二)
添川 陽太(2年) 高島三)
金子 政貴(2年) 高島三)
菊地 高広(2年) 米沢三)
男子ダブルス
一回戦敗退

山吉加寿哉(2年) 米沢三)
飯田 駿介(2年) 米沢二)
1-2 山本学園
関本 和馬(2年) 米沢二)
添川 陽太(2年) 高島三)
0-2 山形商
男子シングルス
一回戦敗退

関本 和馬(2年) 米沢二)
1-2 佐藤(新庄神室産業)
女子団体
一回戦敗退 1-3 寒河江

工藤香奈子(2年) 米沢三)
安部佐紀子(2年) 高島三)
後藤香朱美(1年) 米沢七)
色摩 友佳(1年) 米沢六)
北見 秋奈(1年) 米沢二)

雨田 佳穂(1年) 米沢四)
女子ダブルス
一回戦敗退

色摩 友佳(1年) 米沢六)
北見 秋奈(1年) 米沢二)
1-2 山形学院

女子テニス部

女子シングルス 一回戦敗退

小野 聖佳(1年) 米沢二)

女子バスケットボール部

一回戦敗退 66-72 谷地
(出場メンバー)

大竹 菜美(2年) 米沢七)
太田 淳子(2年) 米沢五)
市川 栞(2年) 米沢七)
土屋 汐里(2年) 米沢二)
情野 美里(2年) 米沢五)
小川 菜摘(2年) 米沢六)
佐野比奈子(1年) 米沢二)
新野 満帆(1年) 米沢四)
小口友理恵(1年) 米沢二)

地区新人大会

陸上部

男子100M

1位 渡部 大輔(2年) 飯豊)
11秒29

2位 外山 博規(1年) 米沢五)
11秒33
6位 安達 豊(1年) 長井北)

男子200M 11秒51
1位 渡部 大輔(2年) 飯豊)
23秒28

2位 外山 博規(1年) 米沢五)
23秒38

3位 安孫子俊志(2年) 米沢二)
24秒07

男子400M 53秒22
2位 安孫子俊志(2年) 米沢二)

3位 齋藤 圭佑(2年) 米沢五)
53秒46

男子800M(タイムレース)
2位 山口 廣紀(2年) 飯豊)
2分04秒37

4位 安部 力矢(1年) 小国)
2分07秒89

男子1500M(タイムレース)

8位 山口 廣紀(2年) 飯豊)
4分21秒12

9位 伊藤 将太(1年) 米沢四)
4分23秒93

12位 安部 力矢(1年) 小国)
4分34秒29

男子5000M

8位 伊藤 将太(1年) 米沢四)
16分25秒71

男子110Mハードル

- 1位 木村 信謙 (2年) 米沢二
- 17秒10

男子400Mハードル

- 1位 木村 信謙 (2年) 米沢二
- 60秒28

- 5位 齋藤 圭佑 (2年) 米沢五
- 63秒53

男子400Mリレー

- 43秒71

1位

- 安達 豊 (1年) 長井北
- 外山 博規 (1年) 米沢五
- 安孫子俊志 (2年) 米沢二
- 渡部 大輔 (2年) 飯 豊

男子1600Mリレー

- 3分33秒06

1位

- 安孫子俊志 (2年) 米沢二
- 木村 信謙 (2年) 米沢二
- 齋藤 圭佑 (2年) 米沢五
- 外山 博規 (1年) 米沢五

男子走幅跳

- 2位 安達 豊 (1年) 長井北
- 6 M 03

男子砲丸投

- 1位 長谷川 裕 (2年) 川西二
- 14 M 57

男子円盤投

- 1位 長谷川 裕 (2年) 川西二
- 45 M 30

- 2位 羽賀 正貴 (1年) 米沢五
- 34 M 21

男子ハンマー投

- 1位 羽賀 正貴 (1年) 米沢五
- 25 M 88

女子100M

- 2位 舟山 侑里 (2年) 小国
- 13秒12

- 出場 齋藤 綾香 (1年) 長井北
- 14秒59

女子200M

- 2位 渡部真希子 (1年) 宮内
- 27秒67

- 3位 後藤 景 (2年) 長井北
- 27秒70

オープン参加(混成競技のため)

- 金田 沙織 (2年) 長井北
- 28秒29

女子400M

- 2位 後藤 景 (2年) 長井北
- 63秒21

- 5位 渡部真希子 (1年) 宮内
- 64秒98

女子800M

- 2位 小関 美月 (2年) 米沢六
- 2分36秒73

女子1500M

- 8位 小関 美月 (2年) 米沢六
- 5分30秒32

女子1000Mハードル

- 4位 本田 櫻 (2年) 米沢四
- 16秒56

5位 齋藤 綾香 (1年) 長井北

- 20秒89
- オープン参加(混成競技のため)

女子400mハードル

- 1位 本田 櫻 (2年) 米沢四
- 16秒81

- 72秒31

女子400Mリレー

- 52秒15

1位

- 後藤 景 (2年) 長井北
- 本田 櫻 (2年) 米沢四
- 渡部真希子 (1年) 宮内
- 舟山 侑里 (2年) 小国

女子1600Mリレー

- 4分15秒29

1位

- 金田 沙織 (2年) 長井北
- 本田 櫻 (2年) 米沢四
- 渡部真希子 (1年) 宮内
- 後藤 景 (2年) 長井北

女子走幅跳

- 1位 舟山 侑里 (2年) 小国
- 5 M 30

- 2位 金田 沙織 (2年) 長井北
- 5 M 01

- 出場 高取亜里紗 (1年) 米沢一
- 3 M 90

女子砲丸投

- 3位 高橋ひとみ (1年) 米沢二
- 7 M 10

- 4位 渡部 茜 (1年) 米沢四
- 6 M 62

女子円盤投

- 2位 高橋 美香 (2年) 米沢二
- 25 M 20

- 3位 渡部 茜 (1年) 米沢四
- 22 M 85

女子槍投

- 3位 高橋 美香 (2年) 米沢二
- 25 M 27

- 5位 高橋ひとみ (1年) 米沢二
- 23 M 11

バレーボール部

9位

順位決定トーナメント 0-2小国

予選リーグ 0-2 長井工

2-1 高島

0-2 長井

(出場メンバー)

- 齋藤 麻衣 (2年) 南原
- 今井 綾香 (2年) 米沢三
- 今井 朋子 (2年) 米沢三
- 高橋 由衣 (2年) 赤湯
- 田村 圭子 (2年) 米沢五
- 鈴木 詩織 (2年) 高島三
- 佐藤 千帆 (2年) 赤湯
- 山崎 朋美 (1年) 米沢四
- 平 千尋 (1年) 高島三
- 佐藤 絢香 (1年) 米沢一
- 清野ちさと (1年) 米沢四
- 本間なつ美 (1年) 米沢四

男子テニス部

団体戦

一回戦敗退 0-5 米沢中央

団体戦シングルス

渡部 恭兵(2年) 米沢二

高崎 拓真(2年) 米沢七

小口 雄平(1年) 米沢三

団体戦ダブルス

鈴木 将直(2年) 米沢七

鈴木 拓真(1年) 米沢三

高橋 統也(1年) 米沢四

長岡 真己(1年) 米沢三

シングルス

4R敗退 渡部 恭兵(2年) 米沢二

3R敗退 小口 雄平(1年) 米沢三

2R敗退 鈴木 将直(2年) 米沢七

1R敗退 高崎 拓真(2年) 米沢七

鈴木 瞭(1年) 米沢四

鈴木 拓真(1年) 米沢三

高橋 統也(1年) 米沢四

土屋 拓人(1年) 米沢四

長岡 真己(1年) 米沢三

立屋 紀陽(1年) 米沢三

色摩 貴大(1年) 米沢三

ダブルス

3R敗退

渡部 恭兵(2年) 米沢二

高崎 拓真(2年) 米沢七

組

2R敗退

鈴木 将直(2年) 米沢七

小口 雄平(1年) 米沢三

1R敗退

土屋 拓人(1年) 米沢四

鈴木 瞭(1年) 米沢四

立屋 紀陽(1年) 米沢三

色摩 貴大(1年) 米沢三

高橋 統也(1年) 米沢四

長岡 真己(1年) 米沢三

女子テニス部

女子シングルス

3位 小野 聖佳(1年) 米沢二

女子ダブルス組 優勝

佐藤つかさ(2年) 米五中

小野 聖佳(1年) 米沢二

組

ソフトボール部

第3代表決定戦 敗退

【敗者復活トーナメント】

一回戦 8-3 長井工

二回戦 10-11 米沢工

(延長8回タイブレーカー)

二回戦敗退

【トーナメント】

一回戦 3-2 南陽

二回戦 0-7 長井

(5回コールド)

(出場メンバー)

渋谷知恵美(2年) 高畠二

吉田 睦実(2年) 川西二

野部 千夏(1年) 南原

高橋由佳梨(2年) 南原

手塚 優衣(1年) 米沢一

菅野 実里(1年) 赤湯

皆川 亜衣(2年) 米沢二

窪田 泰葉(2年) 長井南

伊藤 彩香(1年) 米沢四

弓道部

女子団体 県大会出場権獲得ならず

(出場メンバー)

齋藤 真輝(3年) 米沢三

岩澤 淳子(2年) 米沢三

大比良恵里佳(2年) 米沢二

内藤まゆ美(2年) 南原

遠藤 香織(2年) 米沢二

今成 仁美(2年) 米沢二

栗山千那津(3年) 米沢四

南雲 望美(2年) 米沢二

漆山 恵子(2年) 赤湯

菅原麻優子(2年) 米沢五

秋葉 美和(2年) 高畠一

芹沢 千尋(2年) 南原

女子個人

3位 芹沢 千尋(2年) 南原中

県大会個人戦出場権獲得

男子団体 県大会出場権獲得ならず

男子個人 県大会出場権獲得ならず

齋藤 拓也(3年) 梨郷

巻坂 駿(2年) 飯豊

湖山 圭(3年) 南原

齋藤 博樹(3年) 米沢四

サッカー部

順位決定戦敗退 0-1 高畠

三回戦 0-3 長井工

二回戦 1-2 米沢興譲館

一回戦 0-4 米沢中央

(出場メンバー)

佐藤 徹也(2年) 米沢六

大橋 大輝(2年) 米沢六

東谷 洋介(2年) 米沢七

新野 伸和(2年) 米沢七

高橋 直也(2年) 米沢一

皆川 政孝(2年) 米沢七

高橋 純一(2年) 南原

多田 裕太(2年) 米沢四



バドミントン部

安部 恭平 (1年 南原)
 高橋 聖也 (1年 米沢一)
 茅田野洋介 (1年 高島一)
 木口 浩輔 (1年 南原)

男子団体 3位 敗者復活戦

(出場メンバー)

山吉加寿哉 (2年 米沢三)
 飯田 駿介 (2年 米沢二)
 関本 和馬 (2年 米沢二)
 渡邊 達也 (2年 高島一)
 添川 陽太 (2年 高島三)
 金子 政貴 (2年 高島三)
 菊地 高広 (2年 米沢三)

男子ダブルス

3位

山吉加寿哉 (2年 米沢三)
 飯田 駿介 (2年 米沢二)
 関本 和馬 (2年 米沢二)
 添川 陽太 (2年 高島三)

二回戦敗退

金子 政貴 (2年 高島三)
 渡邊 達也 (2年 高島一)
 鈴木 潤 (2年 米沢二)
 我妻 健太 (2年 米沢二)
 菊地 高広 (2年 米沢三)
 情野 翔太 (2年 米沢二)

男子シングルス

3位 関本 和馬 (2年 米沢二)

三回戦敗退

山吉加寿哉 (2年 米沢三)
 菊地 高広 (2年 米沢三)

二回戦敗退

金子 政貴 (2年 高島三)
 渡邊 達也 (2年 高島一)

女子団体 2位

(出場メンバー)

工藤香奈子 (2年 米沢三)
 安部佐紀子 (2年 高島三)
 渡辺 美晴 (2年 米沢七)
 新藤 美花 (2年 米沢七)
 色摩 友佳 (1年 米沢六)
 北見 秋奈 (1年 米沢二)
 雨田 佳穂 (1年 米沢四)

女子ダブルス 5位

色摩 友佳 (1年 米沢六)
 北見 秋奈 (1年 米沢二)

三回戦敗退

工藤香奈子 (2年 米沢三)
 渡辺 美晴 (2年 米沢七)
 後藤香朱美 (1年 米沢一)
 後藤 璃帆 (1年 米沢二)

二回戦敗退

安部佐紀子 (2年 高島三)
 雨田 佳穂 (1年 米沢四)
 新藤 美花 (2年 米沢七)
 新山 祥加 (1年 赤湯)

女子シングルス

三回戦敗退

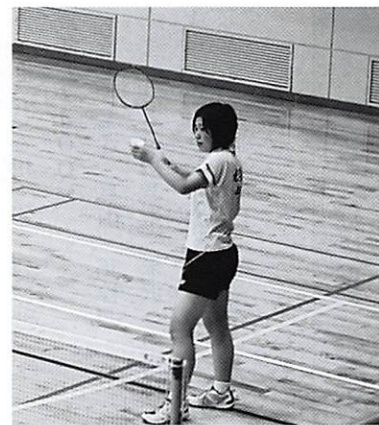
工藤香奈子 (2年 米沢三)

二回戦敗退

色摩 友佳 (1年 米沢六)
 渡辺 美晴 (2年 米沢七)

一回戦敗退

北見 秋奈 (1年 米沢二)
 安部佐紀子 (2年 高島三)



男子バスケットボール部

二回戦敗退 62-101 米沢東

一回戦 113-72 高島

(出場メンバー)

大橋 尚之 (2年 米沢三)
 樋口 徹也 (2年 米沢五)
 小山内 望 (2年 米沢二)
 鈴木 章将 (2年 米沢七)
 伊藤 貴紘 (1年 米沢二)
 須貝 龍介 (1年 吉林市第十七)
 遠藤 光 (1年 米沢七)

女子バスケットボール部

3位

順位決定戦敗退 50-63 米沢商

二回戦敗退 63-67 米沢東

一回戦 66-38 小国

(出場メンバー)

大竹 茉美 (2年 米沢七)
 太田 淳子 (2年 米沢五)
 市川 栞 (2年 米沢七)
 土屋 汐里 (2年 米沢二)
 情野 美里 (2年 米沢五)
 小川 菜摘 (2年 米沢六)
 佐野比奈子 (1年 米沢二)
 新野 満帆 (1年 米沢四)
 鈴木 香穂 (1年 高島一)
 小口友理恵 (1年 米沢二)

剣道部

男子団体 0-5 米沢中央

0-4 荒砥

0-5 南陽

0-5 長井工

男子個人

二回戦敗退

加藤 哲朗 (2年 米沢三)

二回戦敗退

神保 拓巳 (2年 高島一)

一回戦敗退

山内 大輔 (2年 米沢二)

女子個人
一回戦敗退

長谷川成美 (1年 米沢六)
鈴木 美穂 (1年 梨 郷)



卓球部

男子団体

優勝

決勝 3-2 長井工

三回戦 3-1 米沢中央

二回戦 3-1 興譲館

(出場メンバー)

藁科 宏樹 (2年 米沢三)

井上 裕人 (2年 米沢五)

伊藤 聖人 (2年 川西一)

種部 竜志 (2年 米沢五)

鈴木 悠斗 (1年 宮 内)

情野 裕作 (1年 米沢五)

男子シングルス

志田 晶良 (1年 米沢五)
鈴木 一史 (1年 南 原)

優勝 藁科 宏樹 (2年 米沢三)

2位 井上 裕人 (2年 米沢五)

ベスト8

伊藤 聖人 (2年 川西一)

三回戦敗退

種部 竜志 (2年 米沢五)

情野 裕作 (1年 米沢五)

志田 晶良 (1年 米沢五)

鈴木 一史 (1年 南 原)

二回戦敗退

鈴木 悠斗 (1年 宮 内)

女子団体

優勝

決勝 3-1 興譲館

三回戦 3-2 南陽

二回戦 3-1 荒砥

(出場メンバー)

新野美香子 (2年 長井南)

田畠かほる (2年 長井南)

佐藤 舞 (2年 川西一)

崔 馨 月 (2年 中 国)

後藤 理絵 (2年 小 国)

奥村 佳奈 (1年 川西一)

山吉由希子 (1年 米沢三)

齊藤 美久 (1年 高島二)

齊藤 美紗 (1年 高島二)

女子シングルス

優勝 崔 馨 月 (2年 中 国)

2位 田畠かほる (2年 長井南)
ベスト8

新野美香子 (2年 長井南)

奥村 佳奈 (1年 川西一)

ベスト16

佐藤 舞 (2年 川西一)

山吉由希子 (1年 米沢三)

齊藤 美久 (1年 高島二)

三回戦敗退

後藤 理絵 (2年 小 国)

齊藤 美紗 (1年 高島二)

秋田国体

陸上部

少年男子A砲丸投

11位 長谷川 裕 14 M 96

成年女子400M

6位 堀江 真由 56秒04

(本校卒業生・米沢一中出身)

成年少年男子400Mリレー

出場 3走 原田 隆弘 41秒39

(本校職員)

卓球部

少年男子山形県選抜

5位 李 午 龙 (3年 北 京)

東北総合体育大会

陸上部

男子800M

出場 黒澤 悠 (3年 飯 豊)

1分56秒10

男子1500M

3位 安房真沙樹 (3年 米沢二)

3分56秒17

男子砲丸投 (7.26kg)

出場 長谷川 裕 (2年 川西一)

12 M 18

男子ハンマー投 (7.26kg)

出場 今野 亮 (3年 長井北)

42 M 09

女子1000M

出場 伊藤 綾音 (3年 米沢二)

12秒33

女子2000M

出場 伊藤 綾音 (3年 米沢二)

26秒07

男子1000M

5位 原田 隆弘 (本校職員)

10秒73

男子2000M

5位 原田 隆弘 (本校職員)

21秒74

卓球部

少年男子山形県選抜

3位 李 午 龙 (3年 北京)

日本ユース陸上大会(大分)

(10月19日~22日)

陸上部

男子砲丸投

5位 長谷川 裕 (2年 川西一)

15 M 02

その他の大会

陸上部

東北高校駅伝

置賜混成チームとして

18位

2区 6位

安房真沙樹 (3年 米沢一)

9分00秒

3区

黒澤 悠 (3年 飯豊)

26分00秒

5区

山口 廣紀 (2年 飯豊)

9分52秒

6区

伊藤 将太 (1年 米沢四)

16分22秒

県高校駅伝

7位

2時間20秒28

1区 4位

黒澤 悠 (3年 飯豊)

2区 9位

森谷 達也 (3年 高島一)

3区 2位

安房真沙樹 (3年 米沢一)

4区 6位

伊藤 将太 (1年 米沢四)

5区 11位

安部 力矢 (1年 小国)

6区 8位

山口 廣紀 (2年 飯豊)

7区 13位

塩野 涼 (3年 川西一)

17分54秒

置賜選手権 (10月21日)

男子1000M

3位 渡部 大輔 (2年 飯豊)

4位 外山 博規 (1年 米沢五)

6位 安孫子俊志 (2年 米沢二)

11秒45

11秒53

11秒73

8位 安達 豊 (1年 長井北)

11秒77

出場 齋藤 圭佑 (2年 米沢五)

11秒93

出場 木村 信謙 (2年 米沢二)

12秒01

男子400M

1位 安房真沙樹 (3年 米沢一)

50秒89

2位 黒澤 悠 (3年 飯豊)

52秒84

4位 安孫子俊志 (2年 米沢二)

53秒55

5位 外山 博規 (1年 米沢五)

54秒11

6位 齋藤 圭佑 (2年 米沢五)

54秒84

出場 渡部 大輔 (2年 飯豊)

55秒39

出場 森谷 達也 (3年 高島一)

55秒88

出場 山口 廣紀 (2年 飯豊)

56秒18

出場 塩野 涼 (3年 川西一)

56秒48

出場 伊藤 将太 (1年 米沢四)

57秒19

出場 安部 力矢 (1年 小国)

57秒97

出場 加藤 宏幸 (3年 米沢三)

58秒81

男子走幅跳

2位 安達 豊 (1年 長井北)

5 M 91

4位 木村 信謙 (2年 米沢二)

5 M 62

男子円盤投

2位 羽賀 正貴 (1年 米沢五)

23 M 99

男子槍投

7位 羽賀 正貴 (1年 米沢五)

25 M 29

女子1000M

1位 羽田 美穂 (1年 長井北)

12秒94

2位 渡部真希子 (1年 宮内)

13秒27

3位 後藤 景 (2年 長井北)

13秒36

4位 本田 櫻 (2年 米沢四)

13秒38

5位 舟山 侑里 (2年 小国)

13秒42

6位 金田 沙織 (2年 長井北)

13秒70

8位 齋藤 綾香 (1年 長井北)

14秒02

出場 高取亜里紗 (1年 米沢一)

14秒40

女子400M

1位 後藤 景 (2年 長井北)

61秒87

野球部

第23回秋季山形県
高等学校野球一年生大会

(山形県野球場)

地区予選

一回戦 九里 8-1 南陽

二回戦 九里 10-4 米沢中央

決勝 九里 8-2 長井

県大会

一回戦 九里 6-0 天童

準決勝 九里 1-2 酒田南

3位

(出場メンバー)

志摩健太郎 (1年 三鷹三)

佐藤 隼 (1年 小国)

齋藤 哲 (1年 米沢二)

大河原拓弥 (1年 米沢二)

深山 和也 (1年 鎌倉二)

福嶋 孝介 (1年 金沢)

神坂 駿 (1年 町田三)

石澤 健次 (1年 米沢三)

長谷川 渉 (1年 米沢二)

高橋 亮 (1年 米沢二)

中田 隼人 (1年 長井南)

加藤 健斗 (1年 米沢二)

高橋 辰実 (1年 平戸)

川合 祐輔 (1年 米沢五)

加藤 歩 (1年 米沢五)

羽田 圭介 (1年 小国)

2位 本田 櫻 (2年 米沢四)

63秒61

3位 渡部真希子 (1年 宮内)

63秒92

5位 小関 美月 (2年 米沢六)

67秒09

6位 齋藤 綾香 (1年 長井北)

67秒76

女子走幅跳

1位 舟山 侑里 (2年 小国)

5 M 21

2位 金田 沙織 (2年 長井北)

5 M 07

出場 高取亜里紗 (1年 米沢一)

3 M 58

女子円盤投

2位 高橋 美香 (2年 米沢二)

23 M 24

4位 高橋ひとみ (1年 米沢二)

21 M 21

5位 渡部 茜 (1年 米沢四)

20 M 71

女子槍投

3位 高橋 美香 (2年 米沢二)

23 M 71

4位 高橋ひとみ (1年 米沢二)

21 M 24

5位 渡部 茜 (1年 米沢四)

17 M 82

佐藤 翔也 (1年 宮内)

下田 健太 (1年 浜)

遠藤 康太 (1年 米沢四)

湖山 峻 (1年 南原)

鈴木 祥平 (1年 米沢二)

武内 翔平 (1年 長井南)



バレーボール部

置賜地区バレーボール

1年生大会(11月11日)

4位

3位決定戦敗退 0-2 長井

トーナメント

二回戦 0-2 米沢中央

一回戦 2-0 荒砥

(出場メンバー)

山崎 朋美 (1年 米沢四)

平 千尋 (1年 高畠三)

清野ちさと (1年 米沢四)

卓球部

全日本選手権県予選大会

(10月)

シングルス

男子

ベスト8

薬科 宏樹 (2年 米沢三)

五回戦敗退 井上 裕人 (2年 米沢五)

三回戦敗退 伊藤 聖人 (2年 川西一)

三回戦敗退 鈴木 悠斗 (1年 宮内)

二回戦敗退 種部 竜志 (2年 米沢五)

女子

四回戦敗退 佐藤 舞 (2年 川西一)

三回戦敗退 田畝かほる (2年 長井南)

三回戦敗退 新野美香子 (2年 長井南)

山吉由希子 (1年 米沢三)

一回戦敗退

- 後藤 理絵 (2年 小国)
- 齋藤 美久 (1年 高島二)
- 齋藤 美紗 (1年 高島二)
- 奥村 佳奈 (1年 川西一)

東京国際卓球選手権山形県予選会

一般男子ダブルス

- 3位 李 午 龙 (3年 北京) 組
- 藁科 宏樹 (2年 米沢三)

——全国大会出場3月東京体育館にて

一般男子シングルス

- 3位 李 午 龙 (3年 北京)

全国大会出場

- 6位 藁科 宏樹 (2年 米沢三)

一般女子シングルス

- 5位 崔 馨 月 (2年 中国)

全国大会出場

置賜卓球選手権

男子ダブルス

- 1位 李 午 龙 (3年 北京) 組
- 藁科 宏樹 (2年 米沢三)

男子シングルス

- 1位 李 午 龙 (3年 北京)

- 2位 藁科 宏樹 (2年 米沢三)

女子ダブルス

- 1位 崔 馨 月 (2年 中国) 組
- 佐藤 舞 (2年 川西一)

- 2位 田畝かほる (2年 長井南)

- 2位 奥村 佳奈 (1年 川西一) 組

女子シングルス

- 1位 崔 馨 月 (2年 中国)
- 2位 奥村 佳奈 (1年 川西一)
- 3位 新野美香子 (2年 長井南)

調和大会 (中国北京市)

ベスト16

- 李 午 龙 (3年 北京)

全国高校選抜大会(東京体育館)

(3月25~27日)

男子シングルス 山形県代表

- 藁科 宏樹 (2年 米沢三)

文化系部活動

吹奏楽部

全日本アンサンブルコンテスト

山形県大会 (1月20日)

フルート四重奏 銀賞

- 保科冴季恵 (3年 川西一)
- 高梨由依子 (3年 米沢四)
- 湯村 花恋 (1年 米沢五)
- 井上 愛莉 (1年 飯 豊)

サクソス四重奏 銀賞

- 佐藤 博美 (2年 米沢五)
- 横山 聡美 (2年 米沢二)
- 青木 聡美 (2年 米沢四)
- 高橋 理紗 (1年 飯 豊)

全日本アンサンブルコンテスト

置賜地区大会 (12月23日)

フルート四重奏 金賞 地区代表

- 保科冴季恵 (3年 川西一)
- 高梨由依子 (3年 米沢四)
- 湯村 花恋 (1年 米沢五)
- 井上 愛莉 (1年 飯 豊)

クラリネット四重奏 銀賞

- 山口 由佳 (2年 川西二)
- 遠藤 知世 (2年 米沢五)
- 佐久間ちひろ (2年 米沢二)
- 横尾 歩 (1年 米沢一)

サクソス四重奏 金賞 地区代表

- 佐藤 博美 (2年 米沢五)
- 横山 聡美 (2年 米沢二)
- 青木 聡美 (2年 米沢四)
- 高橋 理紗 (1年 飯 豊)

美術部

第55回山形県高校美術展

第31回山形県高等学校総合文化祭

(10月12~14日)

努力賞

油彩画 F80号「崩壊の日」

青木みのり (1年 長井北)

演劇部

演劇合同発表会 (9月15~16日)

「ザ・シエルター」 優良賞

(スタッフ)

演出 佐竹 直希 (3年 赤湯)

舞台監督

松田 健 (3年 米沢一)

照明 小泉 英毅 (1年 長井南)

音響 土田 里美 (3年 米沢一)

音響 笹原 美里 (1年 沖 郷)

装置 平間ちひろ (1年 米沢四)

装置 奥山 由真 (1年 米沢四)

舞台補助

橋 仁美 (3年 高島二)

(キャスト)

センタ

佐竹 直希 (3年 赤湯)

サトコ

後藤 亜希 (1年 米沢四)

カノ 奥山 由真 (1年 米沢四)

センジュロー


戸田 裕介 (1年 南原)

気象情報の声

笹原 美里 (1年 沖 郷)

平成20年度 部活動後援会法人会員一覧 (敬称略順不同)

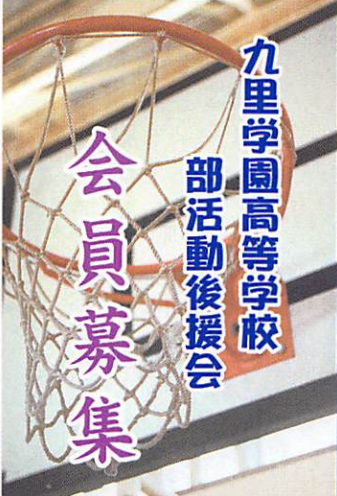
- (有)平田自動車工業
 - 中條歯科医院
 - 笹生歯科医院
 - タカムラ(株)
 - (株)青葉堂印刷
 - 米沢アルミ工業(株)
 - 伊東商店
 - (株)ヤマケン
 - 特急寿司
 - (株)カクダイ本店
 - (有)花のえちごや
 - (有)丸善
 - (有)肉の加藤
 - 若月電気管理事務所
 - (株)山形ニッタン
 - 舟坂峠ダイナミックゴルフ練習場
 - 岡田電気産業(株)
 - 山田電気管理
 - (株)システムクリエイト
 - 玉寿司
 - (株)本多建設
 - (株)本多興産
 - ホテルベネックス
 - (株)ニュー小原商店
 - (株)スズデン
 - (株)戸部電材米沢営業所
 - 山交観光(株)米沢営業所
 - 菅野建具店
 - 八代鋳金
 - 住友生命南陽支部
 - 上杉城史苑
 - (有)タカモク
 - (有)井上板金工業所
 - (株)城南産業
 - (株)佐藤建材店
 - (株)千代田電工
 - (有)吾妻外装
 - (有)佐々木硝子店
 - (株)マルコーエンジニアリング
 - (有)片山塗工店
 - アズミタイル
 - 情野冷熱機工(株)
 - 大塚薬品工業(株)
 - 遠藤岩根
 - (有)今井商店
 - ブティックラヴィ
 - (有)金内酒店
 - (有)鈴木自動車板金工作所
 - サイトウ時計店
 - ステークハウスオルガン
 - 鈴木測量登記事務所
 - (有)鳥勝牛肉店
 - (株)今井造園
 - 和食処花園
 - (有)タキペン塗装
 - 神原省治
 - 桑原豆腐店
 - 和光堂写真館
 - 米沢ツーリストサービス
 - 近畿日本ツーリスト
 - (株)JTB東北米沢支店
 - (有)べにばな
 - (有)べにばな
 - (株)伊藤園
 - (株)仙台コココーラ
 - (有)ウエマツ
 - (株)小泉創芸
 - 齋藤俊一税理士事務所
 - (株)タスクフーズ
 - 彌満和精機工業(株)
 - 土木施工山口
 - インテリア雅
 - 酒井塗装所
 - (株)川島印刷
 - 福島カラー印刷(株)
 - (株)エービーエム
 - (株)平山孫兵衛商店
 - (株)山一酒販
 - 東京第一ホテル米沢
 - (株)小島洋酒店
 - 米沢酒類販売(株)
 - (株)小嶋総本店
- (平成二十年二月二十六日現在)



お問い合わせは
後援会事務局(担当/大滝勲)まで
下記まで
☎011-338-2100
☎011-338-2100
☎011-338-2100
☎011-338-2100

特別会員
年会費 一〇三,〇〇〇円
(□数は問わず)

法人会費
年会費 一〇一〇,〇〇〇円
(□数は問わず)



**九里学園高等学校
部活動後援会
会員募集**

本会は九里学園高等学校における教育活動の中で重要な位置を占める体育・文化の部活動を、経済的に援助をする会です。会費は次の通りです。

新規会員を募集しております。